

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 水曜日・4校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間の科学(乳幼児の発達と障害) Human Sciences (development and disabilities of young children )		
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:小島道生 /Eメールアドレス:mokojima@net.angasaki-u.ac.jp /研究室: /TEL:095-819-2397 /オフィスアワー:金曜日1限目			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:乳幼児の発達と障害について、基礎的な事項を理解し、説明できるようになる。特に、ことば、認知、気質、性格、他者理解、社会性などについて焦点をあて、乳幼児期の子ども発達についての概略と障害について理解する。  授業方法:パワーポイント、VTRを用いながら、授業を進める。基本的には、講義形式となる。  授業到達目標:乳幼児の発達と障害について、基礎的な事項を説明できるようになる。特に、ことば、認知、気質、性格、他者理解、社会性などについて理解でき、説明できるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 乳幼児の発達について、気質、性格、言語・コミュニケーション、他者理解、知能、社会性などをキーワードとし、理解を深める。また、発達の遅れや偏りなどの障害についても扱い、乳幼児期における支援の在り方についても言及する。  第1回;オリエンテーション 発達と障害について 第2回;乳幼児期の発達;乳児期を中心に 第3回;乳幼児期の発達;気質と性格(1) 第4回;乳幼児期の発達;気質と性格(2) 第5回;乳幼児期の発達;言語・コミュニケーション(1) 第6回;乳幼児期の発達;言語コミュニケーション(2) 第7回;乳幼児期の発達と障害;言語・コミュニケーション 第8回;乳幼児期の発達;他者理解(1) 第9回;乳幼児期の発達;他者理解(2) 第10回;乳幼児期の発達と障害;他者理解 第11回;乳幼児期の発達 知能 第12回;乳幼児期の発達と障害 知的機能 第13回;乳幼児期の発達 社会性 第14回;乳幼児期の発達と障害 社会性 第15回;全授業の総括(試験を含む)			
キーワード	乳幼児 発達 障害		
教科書・教材・参考書	随時紹介する。		
成績評価の方法・基準等	授業への貢献度(45%)、最後のまとめのテスト(45%)、小テスト(10%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	ノートを持参することが望ましい。		